

2019年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年3月28日

上場会社名 夢の街創造委員会株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2484 URL <http://www.yumenomachi.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 利江
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 ビジネスサポート本部長 (氏名) 宮下 淳 (TEL) 03-4500-9380
 四半期報告書提出予定日 2019年4月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年8月期第2四半期の連結業績(2018年9月1日~2019年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期第2四半期	3,119	21.4	△40	—	△19	—	△33	—
2018年8月期第2四半期	2,568	1.7	341	△8.4	353	△4.0	225	24.0

(注) 包括利益 2019年8月期第2四半期 7百万円(△97.5%) 2018年8月期第2四半期 295百万円(56.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年8月期第2四半期	△0.82	—
2018年8月期第2四半期	5.56	5.46

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年8月期第2四半期	6,007	2,902	48.2
2018年8月期	6,502	3,268	50.1

(参考) 自己資本 2019年8月期第2四半期 2,898百万円 2018年8月期 3,255百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年8月期	—	0.00	—	3.60	3.60
2019年8月期	—	0.00	—	—	—
2019年8月期(予想)	—	—	—	3.60	3.60

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細は、2019年3月28日に別途公表しております「2019年8月期(第20期)期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2019年8月期の連結業績予想(2018年9月1日~2019年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	28.9	△300	—	△290	—	△300	—	△7.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
- (注) 詳細は、四半期決算短信（添付資料）9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2019年8月期2Q	44,390,400株	2018年8月期	44,390,400株
2019年8月期2Q	3,497,074株	2018年8月期	3,883,274株
2019年8月期2Q	40,703,702株	2018年8月期2Q	40,493,483株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、経済情勢等様々な不確定要素によりこれらの予測数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2019年3月29日（金）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2018年9月1日から2019年2月28日)につきまして、当社グループは、基本方針である「出前館事業における強固な事業基盤の構築」に向けて、様々な施策に取り組んでまいりました。

主要戦略であるシェアリングデリバリー®事業展開の加速においては、「日高屋」、「魚べい」、「宮本むなし」などの人気チェーンが当第2四半期会計期間に新たに加盟したほか、各地域の地元人気店も順調に増加しました。また、シェアリングデリバリー®のエリア拡大においては、配送拠点の収益モデル化を推進し、新たに、京都府、奈良県、広島県に進出し、広島県福山市では地域密着の運送会社が新たな配送パートナーに加わるなどした結果、2019年2月末時点で配送拠点は104拠点となりました。

このほか、オペレーションの効率化においては、2018年12月27日に㈱ツナグ・ソリューションズおよび㈱インディバルとの業務提携契約を締結し、加盟店舗及び配送拠点の人手不足を支援するための新サービスである「shotworksデリバリー with 出前館」の3月のローンチに向けて取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,119,580千円(前年同期比21.4%増)と増収であったものの、積極的な事業展開と投資実行により、利益については、営業損失が40,161千円(前年同期は341,034千円の営業利益)、経常損失が19,264千円(前年同期は353,570千円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失が33,266千円(前年同期は225,187千円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年2月28日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)		増減	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
出前館事業						
基本運営費	194,587	7.6	231,873	7.4	37,285	19.2
オーダー手数料	1,241,371	48.3	1,557,801	49.9	316,429	25.5
広告収入	8,107	0.3	11,746	0.4	3,638	44.9
その他	434,199	16.9	661,020	21.2	226,821	52.2
小計	1,878,266	73.1	2,462,440	78.9	584,174	31.1
通信販売事業	690,515	26.9	657,140	21.1	△33,374	△4.8
合計	2,568,781	100.0	3,119,580	100.0	550,799	21.4

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①出前館事業

出前館事業セグメントにおきましては、当第2四半期連結会計期間末におけるアクティブユーザー数は約282万人(前年同期比10.8%増)、加盟店舗数は18,572店舗(前年同期比15.5%増)、オーダー数に関しましては約1,376万件(前年同期比24.9%増)となりました。その結果、当第2四半期連結累計期間のセグメント売上高の内訳は、基本運営費231,873千円、オーダー手数料1,557,801千円、広告収入11,746千円、その他661,020千円となり、セグメント売上高は2,462,440千円(前年同期比31.1%増)となりました。

②通信販売事業

通信販売事業セグメントにおきましては、飲食店向けに焼酎などの通信販売を行い、当第2四半期連結累計期間のセグメント売上高は657,140千円(前年同期比4.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における流動資産残高は、前連結会計年度末比で663,317千円減少し、4,606,641千円となりました。主な要因は、現金及び預金が699,164千円、受取手形及び売掛金が164,663千円減少した一方、未収入金が213,926千円増加したことによるものです。

固定資産残高は、前連結会計年度末比で169,011千円増加し、1,401,210千円となりました。主な増減の要因は、投資有価証券が68,073千円、ソフトウェア仮勘定が88,599千円増加した一方、ソフトウェアが49,924千円減少したことによるものです。

この結果、総資産残高は、前連結会計年度末比で494,306千円減少し、6,007,851千円となりました。

流動負債残高は、前連結会計年度末比で107,294千円減少し、3,057,342千円となりました。主な増減の要因は、支払手形及び買掛金が16,710千円減少した一方、未払金が161,431千円、賞与引当金が13,287千円増加したことによるものです。

固定負債残高は、前連結会計年度末比で20,866千円減少し、47,725千円となりました。主な増減の要因は、その他が18,862千円、長期借入金が2,004千円減少したことによるものです。

純資産残高は、前連結会計年度末比で366,145千円減少し、2,902,783千円となりました。主な増減の要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失33,266千円、資本剰余金の減少5,991千円、自己株式の処分を89,004千円計上した一方、剰余金の配当145,825千円、自己株式の取得299,947千円を計上したこと等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、2,229,054千円となり、前連結会計年度末と比較して699,164千円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、62,153千円（前年同四半期は233,413千円の増加）となりました。主な増減の内訳は、法人税等の支払額90,166千円、税金等調整前四半期純損失36,865千円等の減少要因に対し、減価償却費112,969千円等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、202,272千円（前年同四半期は128,654千円の減少）となりました。主な増減の内訳は、無形固定資産の取得による支出117,406千円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、558,590千円（前年同四半期は185,860千円の減少）となりました。主な増減の内訳は、長期借入金の返済による支出2,004千円、自己株式の取得による支出299,947千円、自己株式の処分による収入91,194千円、配当金の支払額145,738千円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえまして、2018年10月11日の「2018年8月期決算短信」で公表いたしました2019年8月期通期の連結業績予想を修正しております。

詳細は、2019年3月28日に別途公表しております「2019年8月期（第20期）通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,928,218	2,229,054
受取手形及び売掛金	350,154	185,491
商品及び製品	61,238	62,722
未収入金	1,864,879	2,078,805
その他	69,364	83,208
貸倒引当金	△3,897	△32,641
流動資産合計	5,269,958	4,606,641
固定資産		
有形固定資産	122,855	179,617
無形固定資産		
ソフトウェア	588,166	538,242
ソフトウェア仮勘定	16,015	104,614
その他	138	138
無形固定資産合計	604,320	642,995
投資その他の資産		
投資有価証券	348,380	416,454
差入保証金	114,590	114,868
繰延税金資産	13,865	13,865
その他	28,431	34,146
貸倒引当金	△244	△737
投資その他の資産合計	505,023	578,596
固定資産合計	1,232,199	1,401,210
資産合計	6,502,157	6,007,851

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	98,960	82,249
短期借入金	800,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	4,008	4,008
未払金	1,985,520	2,146,952
未払法人税等	110,232	43,533
賞与引当金	32,662	45,949
その他	133,252	134,648
流動負債合計	3,164,636	3,057,342
固定負債		
長期借入金	3,634	1,630
その他	64,957	46,095
固定負債合計	68,591	47,725
負債合計	3,233,227	3,105,067
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,113,300	1,113,300
資本剰余金	637,340	631,349
利益剰余金	1,813,455	1,632,392
自己株式	△466,962	△677,905
株主資本合計	3,097,134	2,699,137
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	157,641	199,359
為替換算調整勘定	1,043	—
その他の包括利益累計額合計	158,685	199,359
新株予約権	6,637	4,285
非支配株主持分	6,472	—
純資産合計	3,268,929	2,902,783
負債純資産合計	6,502,157	6,007,851

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2018年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)
売上高	2,568,781	3,119,580
売上原価	924,050	1,193,770
売上総利益	1,644,730	1,925,810
販売費及び一般管理費	1,303,696	1,965,972
営業利益又は営業損失(△)	341,034	△40,161
営業外収益		
受取利息	34	53
受取配当金	1,465	1,709
貸倒引当金戻入額	—	5,005
持分法による投資利益	10,405	14,029
為替差益	66	—
その他	1,649	1,685
営業外収益合計	13,620	22,482
営業外費用		
支払利息	420	1,011
為替差損	—	455
その他	664	118
営業外費用合計	1,084	1,585
経常利益又は経常損失(△)	353,570	△19,264
特別損失		
固定資産除却損	792	8,924
減損損失	13,768	—
関係会社株式売却損	—	8,676
特別損失合計	14,561	17,600
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	339,008	△36,865
法人税等	114,623	△3,599
四半期純利益又は四半期純損失(△)	224,385	△33,266
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△801	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	225,187	△33,266

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2018年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	224,385	△33,266
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	71,211	41,718
為替換算調整勘定	△74	△1,043
その他の包括利益合計	71,136	40,674
四半期包括利益	295,522	7,408
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	296,016	7,408
非支配株主に係る四半期包括利益	△493	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2018年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	339,008	△36,865
減価償却費	80,245	112,969
減損損失	13,768	—
のれん償却額	51,416	—
固定資産除却損	792	8,924
関係会社株式売却損益(△は益)	—	8,676
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,127	29,236
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,325	13,287
受取利息及び受取配当金	△1,499	△1,762
支払利息	420	1,011
持分法による投資損益(△は益)	△10,405	△14,029
売上債権の増減額(△は増加)	△103,253	131,260
たな卸資産の増減額(△は増加)	△13,565	△35,283
仕入債務の増減額(△は減少)	△19,008	△16,656
その他	14,475	△54,531
小計	359,849	146,237
利息及び配当金の受取額	3,910	7,147
利息の支払額	△470	△1,064
法人税等の支払額	△129,875	△90,166
営業活動によるキャッシュ・フロー	233,413	62,153
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,634	△67,927
無形固定資産の取得による支出	△111,152	△117,406
長期前払費用の取得による支出	△642	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△10,118
その他	△7,226	△6,820
投資活動によるキャッシュ・フロー	△128,654	△202,272
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	1,000,000
短期借入金の返済による支出	—	△1,200,000
長期借入金の返済による支出	△52,422	△2,004
自己株式の取得による支出	△69	△299,947
自己株式の処分による収入	1,747	91,194
配当金の支払額	△133,719	△145,738
その他	△1,397	△2,094
財務活動によるキャッシュ・フロー	△185,860	△558,590
現金及び現金同等物に係る換算差額	△139	△455
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△81,241	△699,164
現金及び現金同等物の期首残高	2,262,804	2,928,218
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,181,563	2,229,054

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

自己株式の取得

当社は、2019年1月16日開催の取締役会における自己株式の取得に関する決議に基づき、自己株式199,800株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が299,947千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式は677,905千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2017年9月1日 至 2018年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,878,266	690,515	2,568,781	—	2,568,781
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	96,504	96,504	△96,504	—
計	1,878,266	787,019	2,665,285	△96,504	2,568,781
セグメント利益	365,227	107,469	472,696	△131,662	341,034
その他の項目					
減価償却費	74,100	6,145	80,245	—	80,245
のれん償却額	—	51,416	51,416	—	51,416

- (注) 1. セグメント利益の調整額△131,662千円は、報告セグメントの減価償却費△80,245千円及びのれん償却額△51,416千円が含まれております。
2. 各報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、原則として、事業用資産についてはセグメントを基準として、遊休資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

第2四半期連結累計期間において、「出前館事業」セグメントで東京本社移転の意思決定に伴い、遊休資産等の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額(13,768千円)を減損損失として計上しております。

なお、当資産グループの回収可能価額は使用価値により測定しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,462,440	657,140	3,119,580	—	3,119,580
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	119,974	119,974	△119,974	—
計	2,462,440	777,114	3,239,555	△119,974	3,119,580
セグメント利益又は損失(△)	△32,988	105,796	72,807	△112,969	△40,161
その他の項目					
減価償却費	104,836	8,133	112,969	—	112,969
のれん償却額	—	—	—	—	—

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△112,969千円は、報告セグメントの減価償却費△112,969千円が含まれております。

2. 各報告セグメントのセグメント利益又は損失の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。